

## 会 議 録

会議名	平成23年度 第5回 丸亀市総合計画審議会
開催日時	平成24年1月24日(火) 9:30~12:10
開催場所	丸亀市役所 本館2階第3会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p style="text-align: center;">内田 俊英      小野 健一      片山 圭之      板倉 真      金 永子          牛島 授公      岩崎 晶典      岩田 理香      奥村 素一      橘 節哉          篠塚 智枝子      藤田 登茂子      臼杵 實      北風 智恵実      林 毅          早馬 倫代      大倉 祐紀      佐野 一樹</p> <p>(欠席委員)</p> <p style="text-align: center;">砂古 敏之      宮本 喜美代</p> <p>(説明のために出席した者)</p> <p style="text-align: center;">企画財政部長 大林 諭      政策課長 矢野 律      政策課副課長 小山 隆史          政策課 真鍋 裕章</p>
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総合計画後期基本計画(素案)について</li> <li>2. 今後のスケジュールについて</li> <li>3. その他</li> </ol>
傍聴者	1名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
政策課長	<p>ご案内の時間になりましたので、ただいまから第5回丸亀市総合計画審議会を開会します。本日はお忙しいところ、ご出席いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>はじめに、企画財政部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
企画財政部長	<p>おはようございます。本日はお忙しい中また寒さの厳しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>さて、この場をお借りして、現在の丸亀市の状況について、少しご紹介したいと思います。</p> <p>現在は、報道等で取り沙汰されている国の社会保障と税の一体改革等についての情報収集に努めながら、平成24年度予算の編成作業に取り組んでいるところです。すでに最終段階を迎えておりますが、収入に見合った事業をしていく上で、安心・安全のまちづくりや子育て環境の整備、社会福祉の充実など様々な課題がありますので、依然厳しい予算編成を強いられているのが現状です。詳細につきましては、2月中旬に予算大綱として公表されますので、ご覧いただきたいと思っております。</p> <p>また、それと並行して、議会におきましては、「開かれた議会」を目指して、議会基本条例の策定作業が進められており、3月議会での制定に向けて取り組んでいます。こちらも知っておいて欲しいと思っておりますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>そこで、総合計画の後期基本計画ですが、前回審議会では、政策体系をお示しして、多くのご意見をいただきました。本日は、それらの意見を元に修正を加えた後期基本計画(素案)を</p>

	<p>お示して、さらに忌憚のない意見をいただくことで、よりふさわしい後期基本計画を作り上げたいと考えておりますので、ご審議よろしく申し上げます。</p>
<p>政策課長</p>	<p>それでは、次に、本日の資料のご確認をお願いします。</p> <p>【事前配布資料1】丸亀市総合計画後期基本計画（素案）</p> <p>【事前配布資料2】丸亀市総合計画後期基本計画（素案）政策体系</p> <p>【当日配布資料1】会議次第</p> <p>【当日配布資料2】総合計画スケジュール</p> <p>【当日配布資料3】丸亀市総合計画後期基本計画（素案）の差し替え分</p> <p>すべてお揃いでしょうか。</p> <p>お揃いのようなので、議事に移ります。ここからの議事進行については、丸亀市附属機関設置条例第7条第1項の規定により、牛島会長をお願いします。</p>
<p>牛島会長</p>	<p>おはようございます。まず、議事に入ります前に、本日は委員20名中18名の出席がありますので、丸亀市附属機関設置条例第7条第2項の規定により、会議が有効に成立していることを報告しておきます。</p> <p>では、本日の議事の1番目、総合計画後期基本計画（素案）について、事務局より説明を求めます。</p>
<p>政策課真鍋</p>	<p>【事前配布資料1】丸亀市総合計画後期基本計画（素案）</p> <p>【事前配布資料2】丸亀市総合計画後期基本計画（素案）政策体系に基づき説明</p>
<p>牛島会長</p>	<p>事務局の説明は終わりました。ただいまの説明に対して、意見等がありますか。</p>
<p>臼杵委員</p>	<p>P13の「行政運営の方針」については、基本構想からの変更はないということですが、そのイメージ図が、4つの方針のうち3つが絡み合い、1つは絡んでいないような図になっています。これらは、すべてが絡み合うイメージの方が良いと思いますので、そのように図を修正してはどうでしょうか。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>10年計画の基本構想の中では、方針や理念は、できる限り引き継いでいくこととしていますが、今のご指摘については、方針とイメージ図が合うよう修正します。</p>
<p>大倉委員</p>	<p>P16の「将来都市構造図」に島嶼部が入っていませんが、計画の中には、離島航路の維持など島嶼部に関係する項目も入っています。島嶼部については、どのように考えていますか。</p>
<p>政策課副課長</p>	<p>この図は、都市計画マスタープランから引用していますが、都市計画上の土地利用図ということで、都市計画区域外の島嶼部は含まれていません。しかし、それは都市計画上という限定的な意味合いですので、総合計画全体としては、当然、島嶼部も含めて考えています。</p>

岩田委員	P87の「学校給食の充実」ですが、ここの学校給食に幼稚園も含むとなると、旧丸亀市内の幼稚園では簡易給食しか行われておらず、飯山・綾歌地区の幼稚園とは差があります。そのような格差の解消については考えていますか。考えているのなら、ここに明記して欲しいと思います。
企画財政部長	合併後、幼稚園の制度の地区による格差については、徐々に解消してきました。給食については、受け入れ側の施設整備の問題が残っているために、格差の解消には至っていませんが、平成26年度には、教育施設の耐震化が一段落しますので、次の課題として考えていかなければならないと思います。施策の展開に明記することについては、所管課と調整します。
林委員	この計画を実現していくためには、予算の確保が重要になりますが、計画と予算の関連性はどのようになっていますか。また、計画を作ったものの財源がないので実行できないという状況にならないために、どのように考えていますか。
政策課副課長	総合計画の構成として、基本計画の下に、3年計画で毎年見直す実施計画があります。この実施計画では、基本計画で定めた施策を実現するための個々の事業が挙がってきますので、予算編成と実施計画は連動してきます。また、限られた財源の中で施策を進めていく上で、今回は重点推進プロジェクトを設けて、優先的に取り組む事項を決めておりますので、これは、優先的に財源を確保して、実施していく方針にしています。
林委員	総合計画の中身が必ずしも、すべて実現するわけではなく、財源次第の部分もあるということですね。あと、今回の審議会では、事務局は計画作りのための不断の努力をしているのか、どのように審議会委員と事務局のコミュニケーションを図れば議論が深まるのかということについて考えさせられます。もしかしたら、議論が深まらないまま予定調和で計画の策定が進んでいるのではないかと、審議会委員の意見は受け止められていないのではないのかという疑念があります。大切なまちづくりの指針を作るのですから、もっと議論を深め、お互いが意識を共有しながら作り上げたいと感じています。
企画財政部長	確かに総合計画にある全てが実現するとは限りません。予算編成の取りまとめは、財政課が担っていますが、政策課と隣同士で、総合計画の策定とお互いに連携しながら進めていますので、総合計画の内容が予算編成にも十分に反映されます。
政策課副課長	策定作業が遅れ、今日まで素案をお示しできなかったことについては、ご迷惑をおかけしました。今回の後期基本計画の策定にあたっては、これまで以上に前期計画の検証に時間を割きました。十分な検証を行った上で、素案作りに取り掛かったわけですが、検証作業は行政評価委員会の役割ですので、本審議会では出来上がった体系や素案について意見をいただくという作業になり、物足りない部分もあろうかと思えます。事務局としても、前回の審議会での意見は、ほぼ素案に反映させているように、市民の代表である審議会の意見は、できる限り計画に反映させたいと考えていますので、ご理解をお願いします。

大倉委員	P64に「大手町周辺公共施設の再編計画」とありますが、万が一、大手町周辺公共施設の機能が失われた場合のことは想定していますか。大手町以外の地域を災害拠点とする考えはありますか。
政策課副課長	「大手町公共施設の再編計画」は災害対応のハード整備の面での大きな課題です。今後の再編計画策定の中で、ご指摘のような想定も含めて考えていかなければなりません。また、それ以外にも重点推進プロジェクトとして、ハード・ソフト両面から災害対策の充実を図ることとしています。
奥村委員	市の水防計画では、城乾地区の避難所の収容人数が880人となっていますが、隣接する城西地区からの避難も考えると、約4,000人の住民がこの避難所の対象になります。このような計画は全戸避難という最悪の事態まで想定すべきと考えますが、地域住民の安心のためには、少しでも実際の対象人数に近い避難所を確保するなど、細かい点も考えて欲しいと思います。
企画財政部長	昨年の東日本大震災以来、国全体の危機管理意識が変わりました。これまで他地域より安心・安全だった丸亀も、津波対策など新たな課題が出てきています。現在は、国や県が被害想定の見直しに入っていますので、それに合わせて地域防災計画を見直すとともに、実践的な訓練等により、職員の意識と対処能力の向上に努めています。重点推進プロジェクトの重点課題の1番目は安心・安全ということで、住民の安心・安全の確保と住みよいまちをつくるために、ご指摘のようなきめ細かな部分まで対応できるよう、取り組んでいきたいと思っています。
林委員	行政があらゆるケースで永遠に住民の安全を守るということは不可能です。どこまでを想定して行政として責任を持って取り組んでいくかということについて、住民に対して明らかにして、その想定を超えた場合は、みんなが協力して乗り越えていくしかないというような潔さも必要だと思います。また、その想定する基準をどこに置くかということについては、オープンな議論が必要だと思います。
企画財政部長	地域防災計画における被害想定がその基準になると思います。地域防災計画の修正案を早めにお示しして、行政や地域住民、みんなで考えていなければならない問題だと思います。
金委員	成果指標は、前期基本計画と同じものですか。また、指標の中には分かりにくいものや施策の展開と指標があっていないと感じるものも見られますが、どのような考えで指標を設定されたのですか。
政策課副課長	成果指標については、進行管理をしていく上で、それぞれの施策の成果を図れるように所管課と協議して設定しています。ただ、数値化が難しい施策もありますので、現時点では必ずしも成果を図るのに十分とは言えないと思います。今後、もう少し所管課と詰めていく必要があると感じています。

企画財政部長	ここにある指標が、市民には分かりにくいということはあると思います。それぞれの施策を進めていく上で、所管課の持つ指標のうち、代表的なものが出されていますが、皆さんの視点からも、より良い指標を、意見として出していただければと思います。
臼杵委員	市民参加という点からも、市民に対して目に見える目標の提示は必要と思いますので、言葉での表現だけでなく、できる限り数値化した成果目標を設定するべきだと思います。
政策課副課長	市役所の仕事の成果を表すだけでなく、どれくらい市民の参加があったのかや市民アンケート結果など市民参加の視点を大切にして、成果目標を設定したいと考えています。
牛島会長	成果指標については、重要な意見が出されましたので、所管課とやりとりしながら、さらに充実させるようお願いします。
内田委員	安心・安全のまちづくりを進める上で、自助・共助の拠点となる自治会については、前回審議会での意見を受けて、施策の展開の中に文言が追加されました。ここをもう一步進めて、成果指標にも自治会加入率の向上を加えて欲しいと思います。これまで自治会は任意団体ということで加入促進には一步引いていた面があると思いますが、時代とともに市役所のミッションは変わりますので、これを期に取り組んで欲しいと思います。
政策課副課長	市役所として自治会加入促進にどのようなことができるのかという点を考えて、成果指標に加えていませんが、この意見を所管課に伝えた上で、再度協議したいと思います。
小野委員	重点推進プロジェクトの「安心して暮らせる安全安心都市づくり」には、災害への備えや減災、救命などが挙げられていますが、東日本大震災を見ても復旧復興に時間がかかっていると感じますので、復旧復興という観点を含めて欲しいと思います。
政策課副課長	復旧復興への第一歩として業務継続計画の策定を入れました。復旧復興という観点は大切にしたいと思います。
片山委員	先ほど、短い期間や限られた資料の中で、どこまで民意を反映できるのかという疑念が示されましたが、審議会には審議会の役割があるにせよ、様々な民意を吸い上げた総合計画にしなければなりません。それが市政のあり方を変えたいと思います。
牛島会長	ここにいる審議会委員の皆さんも、市民の代表ですから、言い残した意見のないよう、どんどん発言してください。
北風委員	丸亀のPTAは、全国的にも珍しく保育所から高校までが1つの連絡協議会として活動しています。この素案の中には、高校生のことがありませんが、このような保育所から高校まで連携体制や高校生の力を生かすことを、「学校教育の充実」の中で触れて欲しいと思います。

政策課副課長	「学校教育の充実」とは少し違う視点としますので、「生涯学習活動の充実」の中に盛り込むということではどうでしょうか。
北風委員	地域に出ていくというのとは少し違います。丸亀は若い力を大切にしている、それは保育所から中学校までに限らず、一連の繋がりの中で高校生まで含めて考えているという市の姿勢を出して欲しいと思います。
岩田委員	高校生の力を、幼保や小中学校の教育の中に活かして欲しいということもあると思います。
政策課副課長	高校生の力をまちづくりに生かすということは、大変重要な視点ですが、学校教育の基本方針として、高校生まで含めて打ち出すことは難しいと思います。
篠塚委員	高校生も地域の防災訓練など、地域の活動に参加しています。教育とは違いますが、これはこれでいいことだと思います。
牛島会長	県の管轄する高校に対して、市ができることは限られます。具体的にどのような市の役割を期待しますか。
北風委員	清掃活動やイベントや事業等への参加など、地域の中で高校生が学んだり、力を発揮する機会を与えて欲しいと思います。
政策課副課長	そのような視点はあります。自治基本条例の中にも、市民参画の市民の定義は、通勤通学の者も含めて広く解釈しており、高校生をはじめ丸亀に集う若者が市政やまちづくりのいろいろな場面に参加することは重要視しています。高校生など若い力を市民参画に生かすという視点で計画に盛り込むことを検討します。
牛島会長	高校生というのは多感な時期であり、郷土への愛着を育む上でも大切な年頃と思います。今の視点を計画のどこかに盛り込んでください。
藤田委員	老人クラブの加入率が成果指標に加えられていますが、今、高齢者の孤立化は全国的な問題になっています。このような状況の中、閉じこもり防止のためにも、老人会への勧誘をしたいのですが、対象者の把握が難しいという問題があります。いつも名簿があれば勧誘しやすいという話になるのですがどうでしょうか。
企画財政部長	老年人口割合が増加していく中で、高齢者の社会参加や支えあいは重要になってきます。そのために老人会への勧誘は大切ですが、名簿については、個人情報なので慎重な取扱いが求められます。いずれにしても、名簿がないことが勧誘の支障となっていることは所管課に伝えます。

岩田委員	<p>「子育て支援の充実」や「学校教育の充実」については、現場の先生や子ども、保護者にどこまで成果が届いているかが重要です。数値で表れるものではないので、把握が難しいと思いますが、進行管理していく上では現場の意見の吸い上げは欠かせないと思いますので、計画に反映できないにせよ、所管課へそのような意識付けをして欲しいと思います。</p>
政策課副課長	<p>総合計画に表現することは限界がありますが、総合計画の進行管理の上で、そのような意識付けは、全庁的に行いたいと思います。</p>
岩崎委員	<p>さきほどの話と関連して、障がい者団体も名簿が欲しいという要望をしてきましたが、行政には難しいことのようにです。そうすると、どうやって加入促進を図るかを考えたときに、自治会の加入率を上げて、横の繋がりを広げることが効果的ではないでしょうか。そのためにも、自治会の加入率向上を目標として掲げるべきだと思います。</p>
篠塚委員	<p>民生委員も要支援者のマップを作る際に苦慮することがあります。プライバシーも大切ですが、命を守るために、ある程度の情報の共有は必要ですし、自治会の加入率向上は、それに繋がると思います。</p>
企画財政部長	<p>自治会の加入促進は、いろいろな施策を進めるうえでの根底にある課題と認識しました。また、適切な情報の提供も含めて所管課とも協議したいと思います。</p>
板倉委員	<p>成果目標の目標値は実現可能な限界値を設定するとともに、根拠もできる限り明確にして欲しいと思います。</p>
政策課副課長	<p>成果指標については、様々な意見をいただきましたので、次回までに整理し直したいと思います。</p>
早馬委員	<p>「男女共同参画社会の実現」の取り組みとしては、職場内での男女の対等な参画だけでなく、職場から離れて家庭でも夫婦が対等に役割分担できるような職場環境づくりなど、もっと踏み込んで考えて欲しいということや、子どもの頃から高い意識を育てるためには、自分の意識や子育て環境が、我が子の意識にも大きく影響するので、短いスパンではなく、継続的に考えて欲しいということを感じました。ここでは、女性の登用により達成される成果目標に縛られることなく、時間をかけて意識の醸成を図って欲しいと思います。それが長い目で見れば、子育て、産業振興、定住促進などの様々な分野に良い影響を及ぼすようになると思いますので、市はそのような下地作りにしっかりと取り組んで欲しいと思います。</p>
政策課副課長	<p>男女共同参画プランまるがめには、そのような視点が多く盛り込まれていますので、施策を進める上では、その視点が生かされてくるものと思います。</p>

佐野委員	危機管理体制の強化など、特に市民の関心の高い分野などは、もっと具体的な詳しい内容にした方が伝わりやすいと思います。
政策課副課長	総合計画は大きく捉えがちになるので、できる限り具体性のある表現を心がけたいと思います。
牛島会長	意見も出尽くしたようなので、次の議題、今後のスケジュールについて事務局の説明を求めます。
政策課副課長	〔【当日配布資料2】総合計画スケジュールに基づき説明〕
牛島会長	何か質問等がありますか。ないようですので、本日の審議会を終了します。